

マツダ/フォード/長安汽車、中国政府より合弁エンジン会社の承認を取得

マツダ(株)とフォードモーターカンパニー、長安汽車は、中国江蘇省南京市近郊の江寧経済技術開発区(JNDZ)に設立を予定している合弁エンジン製造会社について、このほど中国・国家発展改革委員会(NDRC)の承認を取得したことを発表した。この承認取得によって3社は中国での協力関係をさらに強固にする大きな一歩を踏み出したことになる。

フォードのマーク・シュルツ執行副社長兼アジア太平洋・アフリカ事業社長は、「中国政府の速やかな承認に関係者一同深く感謝している。新たに設立するエンジン製造会社により、南京に建設している車両生産工場のプロジェクトが完結することになり、お客様に最新の技術を盛り込んだ商品をお届けすることができる」と語った。

マツダの井巻久一社長兼 CEO は、「マツダの最新の生産技術でこの3社の合弁事業に貢献できることを非常にうれしく思う。新たなエンジン会社の設立は、南京の車両生産工場とともに中国市場でより高品質なマツダ車を生産する強固な基盤をつくることになる」と述べた。

3社は去る4月19日、新会社の建設予定地である南京で合弁契約の調印を行った。

新会社の社名は「長安フォードマツダエンジン会社」で、年間生産能力は35万基である。生産能力は3社の長期的な成長計画に合わせて拡張が可能である。操業開始は2007年前半を予定しており、主として、現在同開発区に建設中の長安フォードの南京工場にエンジンを供給する。また、新会社は必要に応じてマツダおよびフォードブランド車を生産する中国の他の工場にもエンジンを供給できる能力を持つ。

新会社は車両生産工場から約1キロメートル西に位置し、工場面積が92,000平方メートルとなる。工場建設は政府承認後まもなく着工する。新エンジン会社ではマツダとフォードが開発した2種類のエンジンを生産する。両エンジンとも最新技術を採用し、高出力と低燃費を同時に実現した世界トップレベルのエンジンである。

中国フォードの程美玮 (Mei-Wei Cheng) 会長兼 CEO は、「中国政府と地方当局の協力のおかげで南京での 3 社の合併事業は順調に進んでいる。新しいエンジン会社は、長安フォード南京工場とともに中国におけるフォードグループのさらなる事業拡大にとって戦略的に重要な意味を持つ。中国政府から承認されたことにより、私たちは計画実行に邁進できる」と語った。

長安汽車集団の尹家緒 (Yin Jiaxu) 会長兼社長は、「時宜にかなったエンジン会社の承認は長安汽車とフォード、マツダの 3 社の協力関係をさらに進める意義あるものである。3 社の強みを融合することで、長安汽車は中国でトップクラスの自動車メーカーになるという目標達成のための好位置につくことができる」と語った。

3 社は 2005 年 1 月、中国政府から南京市における車両生産工場 (工場面積 190,000 平方メートル) 建設の承認を取得した。長安フォードの第 2 工場として現在建設中のこの工場は年間生産能力が 160,000 台で、今後の市場動向にあわせて生産能力を拡張することができる。

以上